イプフェンカルバゾン・ベンゾビシクロン・ベンゾフェナップ剤

ジャイロ

(1キロ粒剤/フロアブル)

成分:

イプフェンカルバゾン[トリアゾリノン系]…2.5% (粒剤), 4.5% (フロアブル) ベンゾビシクロン [ビシクロオクタン系]…3.0% (粒剤), 5.4% (フロアブル) ベンソフェナップ[ピラゾール系 PRTR・2種]…8.0% (粒剤), 14.3% (フロアブル)

取扱メーカー:

北興

原体メーカー:

| 北興, エス・ディー・エス, OAT

性状:淡褐色細粒(粒剤)

類白色水和性粘稠懸濁液体(フロアブル)

毒性:普通物 消防法:——

【品目特性】………

〈共通〉

- ●非スルホニルウレア系の水稲一発処理除草剤である。
- ●ノビエに長期残効を示す有効成分イプフェンカルバゾンの働きにより,ノビエに対し安定した効果を発揮する。
- ●非スルホニルウレア系の有効成分の含有量を高めたことにより、スルホニルウレア抵抗性のホタルイ、オモダカ、ミズアオイ等に対し、速効性と効果の安定性を発揮する。
- ●有効成分の特性は参考資料の「有効成分特性一 覧表」を参照。

【使用上のポイント】………… 〈共通〉

- ●共通注意事項 5. 水稲除草剤散布 使用上のポイントを参照。
- ●雑草の発生前から発生初期に有効なので、ノビエの2.5葉期までに散布する。
- ●多年生雑草は生育段階によって効果にフレが出るので、必ず適期に散布する。

雑草名	散布適期			
本平石	粒剤	フロアブル		
ホタルイ ヘラオモダカ ミズガヤツリ エゾノサヤヌカグサ	2葉期まで			
ウリカワ	2葉期まで	発生始期まで		
オモダカ	発生始期まで	光工知朔まし		
ヒルムシロ	発生期まで			

●オモダカは発生期間が長く、遅い発生のものまでは十分な効果を示さない場合があるので、必要に応じて有効な前処理剤又は後処理剤と組み合わせて使用する。

〈粒剤〉

●田植同時処理で施用する場合,終了後はできるだけ速やかに入水する。

- ●共通注意事項 5. 水稲除草剤散布 薬効・薬害等の注意を参照。
- ●適用作物(水稲)及び適用外作物(いぐさ,れんこん,せり,くわい等)への薬害などの注意は「薬害注意事項解説」を参照。
- ●稲の根が露出する条件では薬害を生じるおそれ があるので使用しない。

〈フロアブル〉

●水口施用の場合は、入水時に本剤を水口に施用し、流入水とともに水田全面に拡散させる。処理後田面水が通常の湛水状態(湛水深3~5cm)に達した時に必ず水を止め、田面水があふれ出ないように注意する。

【安全対策上の注意】 ·················· 〈共通〉

- ●無人航空機散布及び滴下の際は、共通注意事項の2.空中散布及び無人航空機(無人へリコプター等)による散布・滴下に関する注意事項を参照。
- ●周辺の桑葉にはかからないようにする (蚕毒)。
- ●藻類に影響を及ぼすので、河川、養殖池等に飛 散、流入しないよう注意して使用する。



①ジャイロ1キロ粒剤

作物名	適用雑草名	使用時期	10 a 当り 使用量	使用方法	本剤の 使用回数
砂块小板	一年生雑草 マツバイ ホタルイ ヘラオモダカ ミズガヤツリ ウリカワ ヒルムシロ オモダカ エゾノサヤヌカグサ	移植時	1kg	田植同時散布機で 施用	1回※
		移植直後〜 ノビエ 2.5 葉期 但し, 移植後 30 日まで		湛水散布又は 無人航空機による 散布	
直播水稲	一年生雑草 マツバイ ホタルイ ミズガヤツリ ウリカワ ヒルムシロ	稲 I 葉期〜 ノビエ 2.5 葉期 但し, 収穫 90 日前まで			

※イプフェンカルバゾンを含む農薬の総使用回数:2回以内 ※ベンゾビシクロンを含む農薬の総使用回数:3回以内 ※ベンゾフェナップを含む農薬の総使用回数:2回以内

②ジャイロフロアブル

作物名	適用雑草名	使用時期	10 a 当り 使用量	使用方法	本剤の 使用回数
移植水稲	一年生雑草 マツバイ ホタルイ	移植時	500 mℓ	田植同時散布機で 施用	1回※
	ヘラオモダカ ミズガヤツリ ウリカワ オモダカ エゾノサヤヌカグサ ヒルムシロ	移植直後〜 ノビエ2.5 葉期 但し, 移植後30日まで		原液湛水散布, 水口施用 又は 無人航空機による 滴下	
直播水稲	一年生雑草 マツバイ ホタルイ ミズガヤツリ ウリカワ ヒルムシロ	稲 1 葉期~ ノビエ 2.5 葉期 但し, 収穫 90 日前まで			

※イプフェンカルバゾンを含む農薬の総使用回数:2回以内 ※ベンゾビシクロンを含む農薬の総使用回数 :3回以内 ※ベンゾフェナップを含む農薬の総使用回数 :2回以内